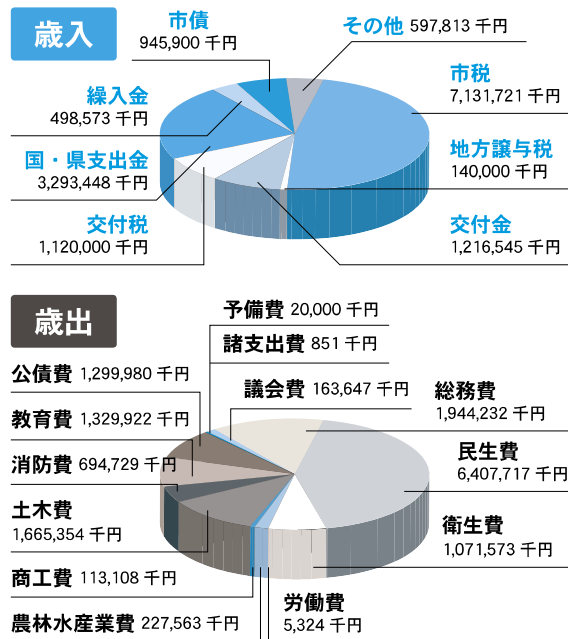


## 《3月定例会》

2月20日から3月17日までの27日間にわたり定例議会が開かれ、市長提出議案26件を審議し、原案のとおり可決等しました。

**一般会計予算 149億4400万円**  
前年度比 + 8億1400万円



## 街づくり課

**問** 新土地利用検討事業は、血沼周辺区域や篠津北東部区域などの課題を整理し、将来の土地利用方針などを検討するとの説明があったが、篠津北東部区域は都市的土地利用を図っていくのか。篠津北東部区域については、農政部局に土地利用方法の確認をすると、適正な農地利用を図っていただく等の回答となる。そのため、市としての方針にズレが生じていることから、一貫性がある方針を確立していく必要があると思うがいかがか。

**答** 篠津北東部区域は、市街化調整区域であり、かつ、農振農用地となっており、開発は厳しく制限されていることから、必ずしも都市的土地利用を推進するものではない。市としては、個別の開発はご遠慮いただきたいと考えている。開発を計画する場合は、一体開発が望ましいが、篠津北東部区域は、市街化調整区域、かつ、農振農用地となっており厳しい制限がかかっているため開発は難しい。

# 「住んでみたい」 令和2年度 一般会計予算 令和2年

- ★まちなにぎわい創出プロジェクト  
白岡中学校周辺区域の都市的土地利用の促進
- ★地域活性化プロジェクト(大山・菁莪地域)
- ★白岡こども・ゆめ・みらいプロジェクト
- ★第6次白岡市総合振興計画策定事業

## 教育指導課

**問** 小規模特認校活性化推進事業について、教育委員会では「市内の学校には複式学級を設けない」という方針があるのか。

**答** 教職員の負担軽減等を考慮すると、大山小学校に限らず、全ての学校において、複式学級は解消すべきものと考えている。

しかしながら、教員配置の経費を市の予算で賄うことは負担が大きいため、より良い方策を検討していく。

## 安心安全課

**問** 地域防災計画改訂事業の具体的なスケジュールは。また、791万円の予算のうち、756万円が委託料であるが、職員はどのように携わるのか。

**答** 県計画の改訂が春から夏頃に完成予定となっているため、その状況を踏まえて市の改訂を行っていく予定である。

また、防災会議の支援、計画の取りまとめ、製本などを事業者へ委託する。職員は、県計画との整合性を踏まえた計画全体の確認、防災会議の運営などを実施していく。



## 税務課

**問** 徴収率が向上して表彰を受けたようだが、その要因は。

**答** 滞納状況の整理を行い、収入未済を圧縮したことで、徴収率が向上した。